

持続的な企業価値向上に関する懇談会の設立について ～2014年伊藤レポート以降の進展と課題の本質～

令和6年4月30日
経済産業省
経済産業政策局
企業会計室

1. 背景・問題意識

- (1) 2014年の伊藤レポート公表以降も、価値協創ガイダンスや東京証券取引所によるコーポレートガバナンス・コードの公表をはじめ、各所から各種ガイダンス等が公表されるなど、企業価値向上に向けた様々な取組が行われてきた。
- (2) こうした中、一部の企業では、コーポレートガバナンス改革も進み、経営変革が行われた結果、企業価値が向上した。しかし、日本企業全体では、依然として、ROE、PBR等のパフォーマンス指標を見る限りにおいて米国・欧州企業と比較して差があるのが実情である。この10年間、一部の企業を除き、多くの日本企業において、これまで指摘されてきた課題が解消されず、パフォーマンスが上げられなかったのはなぜか。

2. 懇談会の目的

- (1) 本懇談会では、伊藤レポートで提言・推奨した各課題等について、公表後10年間の進捗状況を確認した上で、取組が不十分だった課題については、取組が進まなかった要因の分析を行う。
- (2) その上で、課題や要因は、企業経営、取締役会、資本市場などにまたがり、複合的に絡み合っていると考えられるが、当時からの環境変化も踏まえつつ、今後の対応の方向性を検討する。

3. スケジュール

- (1) 2024年5月から開催し、6月を目途に課題の整理を行う予定。
- (2) 課題の整理を踏まえて、7月以降も、必要に応じて、議論を継続。

4. メンバー

別添のとおり。

5. 運営

- (1) 本懇談会は、率直かつ自由な意見交換を確保するため、原則として公開しない。
- (2) 本懇談会の運営に関する事務は、経済産業省経済産業政策局企業会計室が担当する。
- (3) 議事概要については、発言者を明示しない形で案を事務局において作成し、参加者の確認を受けた上で公開する。
- (4) 事務局作成資料については、原則として公開する。参加者の提供資料等、事務局作成資料以外の資料についても、原則として公開するものの、機密情報等が含まれる場合には、資料提出者と相談の上、扱いを決定する。

持続的な企業価値向上に関する懇談会 委員名簿

(五十音順 敬称略)

<座長>

- ・伊藤 邦雄 一橋大学 CFO 教育研究センター長

<委員>

- ・秋枝 眞二郎 キリンホールディングス株式会社 取締役 常務執行役員 CFO
- ・足田 紀雄 ダイキン工業株式会社 常務執行役員
- ・井川 智洋 フィデリティ投信株式会社 ヘッド・オブ・エンゲージメント
- ・磯部 武司 富士通株式会社 代表取締役副社長 CFO
- ・江良 明嗣 ブラックロック・ジャパン株式会社 インベストメント・スチュワードシップ部長
- ・大谷 信之 住友林業株式会社 取締役 常務執行役員
- ・大塚 友美 トヨタ自動車株式会社 Chief Sustainability Officer
- ・奥野 一成 農林中金バリューインベストメンツ株式会社 常務取締役 CIO
- ・梶 昌隆 味の素株式会社 理事・IR室長
- ・加藤 浩嗣 株式会社丸井グループ 取締役 常務執行役員 CFO
- ・菊池 勝也 東京海上アセットマネジメント株式会社 ESG スペシャリスト
- ・岸田 哲行 塩野義製薬株式会社 上席執行役員 コーポレート管掌
- ・古布 薫 インベスコ・アセット・マネジメント株式会社 ヘッド・オブ・ESG
- ・三瓶 裕喜 アストナリング・アドバイザー合同会社 代表
- ・寺沢 徹 アセットマネジメント One 株式会社 運用本部 エグゼクティブ ESG アドバイザー
- ・西山 賢吾 株式会社野村資本市場研究所 主任研究員
- ・西山 光秋 株式会社日立製作所 取締役
- ・日戸 興史 元オムロン株式会社 取締役 執行役員 CFO (現株式会社ワコール社外取締役)
- ・野内 雄三 三菱商事株式会社 代表取締役 常務執行役員 コーポレート担当役員 (CFO)
- ・樋口 昌之 富士フイルムホールディングス株式会社 取締役 執行役員 CFO
- ・増田 邦昭 三菱電機株式会社 取締役 常務執行役員 CFO
- ・南出 雅範 株式会社村田製作所 取締役 常務執行役員
- ・松原 稔 りそなアセットマネジメント株式会社 責任投資部担当常務執行役員
- ・丸山 泰史 エゴンゼンダー株式会社 パートナー

<オブザーバー>

- 東京証券取引所